



飯田高校便り

令和4年11月2日

(校長版)

【第11号】

第25回

3年ぶりに開催しました。

“長野県高等学校理数科教育研究大会”

長野県には、理数科等設置校やSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）指定校など理数科教育の充実、発展に取り組んでいる高校が10校あります。

飯田高校、飯山高校、屋代高校、野沢北高校、伊那北高校、大町岳陽高校、東海大付属諏訪高校、松本県ヶ丘高校、諏訪清陵高校、木曾青峰高校



現在、県内のすべての高校で探究的な学びに取り組んでいますが、理数科設置校では、設置時から課題研究の授業において探究的な学びを行っており、まさに先駆的な役割を果たしてきました。同時に、様々な成果もあげてきています。毎年、理数科設置校が一堂に会す「長野県高等学校理数科教育研究大会」を開催し（今回で25回）、各校の研究発表や意見交換等を通して、理数科教育の充実、発展を図ってきました。しかし、ここ2年間はコロナ禍のため中止となっていましたが、今年度3年ぶりに本校で開催しました。

和歌山市で開催された「全国理数科教育大会の報告」「屋代高校理数科の取組」「東海大付属諏訪高校数学科の取組」「飯田高校理数科の活動と成果」の4本のレポート発表があり、質疑応答では、生徒の主体性を活かした課題研究についてや、地域資源や関連施設等の活用、さらには今後の理数科の在り方等、予定時間を超えての活発な意見交換、交流となりました。3年ぶりとなった今回の研究大会を踏まえ、各校でも理数科教育の更なる充実に取り組んでもらえるものと思います。また、対面での会議、意見交換の有用性を改めて認識した研究大会でもありました。

2年理数科「課題研究中間発表会」

10月18日、2年生理数科の「課題研究中間発表会」が行われました。課題研究の授業は、毎週火曜日の7時間目に3～5人が1グループとなって、それぞれ設定したテーマの研究に取り組んでいます。中間発表ということで、まだまだ研究途上の段階で、先生方からも「測定条件を同じにする必要があるのではないか」等の指摘もありました。今後は、研究をさらに深め、来年2月には、上郷公民館で地域の方々にも来ていただいて発表会を行う予定です。



なお、今年度生徒たちは興味深い以下の9つのテーマに取り組んでいます。

○四つ葉のクローバーを咲かせるためには ○消毒液の殺菌効果

○紙飛行機を遠くに飛ばすには ○安息角の測定

○ダニエル電池の二次電池化 ○松川と天竜川の水質検査

○三角関数列のグラフにおける空白域 ○紙の自由落下 ○飯田高校内の昆虫の生態調査

